

2024 年度 国際交流支援室 事業報告

劉靖・尹得霞・閔琬新
東北大学大学院教育学研究科

1. 国際交流支援室

本年度のスタッフは、先端教育研究実践センター長（甲斐健人教授）、国際交流支援室長（劉靖准教授）、室員（劉靖准教授、尹得霞助教、閔琬新助教）である。

2. 今年度の活動（2025 年 2 月現在）

(1) 会議

- ① 文系四研究科共通国際交流オアシス事業実施委員会（2 回/年：甲斐健人教授出席）
- ② 全学国際交流委員会（開催なし）

(2) 部局間学術交流協定および大学間学術交流協定の維持管理

本年度は、1 件の部局間学術交流協定（UNESCO 東アジア地域事務所）の締結および 1 件の部局間学術交流協定（東北師範大学教育学部）の更新を行った。また、タイチュロンコン大学教育学部との部局間学術交流協定に関する交渉を行った。

(3) 学術交流協定に基づく交換留学生の派遣と受入れ

UNESCO バンコク事務所インターンシップ 1 名（期間：2024 年 10 月～2025 年 3 月）
台湾師範大学へ交換留学する学生 1 名（期間：2025 年 2 月 10 日～2025 年 6 月 20 日）
南京師範大学教育学院から 3 名の交換留学生受け入れの申し出があったが、語学能力が所定の水準に達していない等の理由により、受け入れを中止した。

(4) 外国人留学生の受入れと支援

留学生の受入れ及び学生生活支援を特化した業務であり、主な内容は、1) 研究生希望者の学力・研究能力の調査、2) 日本語会話能力等の面談（インターネットを活用した映像面接）、3) 研究計画書の作成に対する助言、4) 希望する教員の研究分野等の説明、5) 当該教員への報告・相談、6) 入学後の相談・サポート等であり、留学生に関わる全ての業務窓口として対応してきた。本業務は旧教育情報学研究部・教育部の 2015 年 4 月から開始した業務であり、2018 年 4 月に教育学研究科との統合後も継続して実施している。

今年度では、教育情報アセスメントコース、教育政策科学コース、グローバル共生教育論コース、教育心理学コース、臨床心理コースの研究生入学志願者の 36 名を対象に、

研究生受け入れの支援と入学調査を行った。

また、学生の留学生生活をより良くサポートするため、国際交流支援室は新入留学生のためのオリエンテーション及び文系留学生に向け就職活動経験の共有会を開催した。

(5) 国際シンポジウム、講演会

① 2024年12月14日

国際学術シンポジウム（参加者人数：58人）

Higher Education for International Educational Development Studies in the Post-2030: East Asia's Experiences and Prospects

基調講演者：

Dr. James Williams (The George Washington University)

発表者：

Dr. Kevin Kester (Seoul National University)

Dr. Jun Teng (Beijing Normal University)

Dr. Ashida Akemi (Nagoya University)

討論者：

Dr. Kazuo Kuroda (Waseda University)

本シンポジウムの主な目的は、日本、韓国、中国を含む東アジアにおける国際教育開発学構築のために高等教育機関が払ってきた努力に焦点を当て、東アジアにおける国際教育開発学構築のプロセスの現状、特徴、アプローチ、成果、課題を探ることである。さらに、2030年以降の平和、持続可能性、レジリエンスを実現するために、高等教育機関における国際教育開発学の教育・学習においてどのような変革が必要であるかを、研究者、教育関係者、高等教育関係者に提示した。

② 2025年3月7日

国際学術ワークショップ（参加者人数：53人）

Disaster Risk Reduction and Education for Sustainable and Resilient Futures

発表者：

Dr. Mee Young Choi, Chief of Education, UNESCO Regional Office for East Asia

Dr. Takashi Oda, The University of Tokyo

本ワークショップは、ユネスコをはじめとするアジア太平洋地域の関係者が、災害リスク軽減のための教育を推進するための世界的な取り組みについて理解を深めることを目的とする。また、研究者、教育者、高等教育関係者が一堂に会し、2030年以降の平和、持続可能性、レジリエンスを達成するために、学際的かつマルチステークホルダーに基づくアプローチを通じて、災害リスク軽減を総合的に推進するための高等教育の変革について経験を共有し、意見交換を行うことが期待される。さらに、本ワークショップは、今後数年間で、この地域の大学が災害リテラシーに関する共同コースを設立するためのロードマップを作成することについても議論を行った。

③ 2025年3月8日

国際学術ウェビナーシリーズ3（参加者人数：43人）

Building Edu-fare/fair Mind in Higher Education for Sustainability

基調講演者：

Dr. Greg William Misiaszek, Faculty of Education, Beijing Normal University

発表者：

Nanjing Normal University

National Chengchi University

National Taiwan Normal University

Korea University

Chulalongkorn University

Tohoku University

討論者：

Dr. Mee Young Choi, Chief of Education, UNESCO Regional Office for East Asia

本シンポジウムの主な目的は、よりレジリエントで持続可能な世界を実現するために、高等教育機関における教育や学習を通じてエデュフェア・マインドを育成する可能性について、意見交換を行った。さらに、研究者、教育者、高等教育関係者が、2030年以降の平和、持続可能性、レジリエンスを達成するために、公正、正義、公平の教育・学習において、どのような変革が必要なのかを議論できた。

④ TU-EDU Talks 2024 シリーズ

第1回：2024年4月5日

講師：Dr. Yuchi Zhao, Executive Director, International Research and Training

Center for Rural Education (UNESCO INRULED)

Topic: Rural Education for Sustainable Development

第 2 回 : 2024 年 5 月 24 日

講師 : Mr. Robert Parua (Programme Specialist for Education, UNESCO Beijing)

Topic: Teacher Education for Future Education

第 3 回 : 2024 年 7 月 23 日

講師 : Dr. Lynn Ang Ling-Yin (Professor of Early Childhood Education, Vice-Dean/Pro-Director Research, UCL IOE)

Topic: Delivering Early Childhood Education and Quality Education in the Global Context

第 4 回 : 2025 年 1 月 16 日

講師 : Dr. Evelie P. Serrano (Associate Professor, College of Public Affairs and Development, University of the Philippines Los Banos)

Topic: Education and Development in the Philippines

第 5 回 : 2025 年 1 月 23 日

講師 : Dr. Ailing Zhuang (Chengdu University)

Dr. Yan Zhang (Chengdu University)

Topic:

Development of Preschool Education at County-Level in Rural Revitalization: Case study of Kindergarten in Huidong County

Situation and Strategy for Rural Small Scale Schools' Development in China: A Case Study of Chengdu City

(6) 海外大学との交流訪問

・2024 年 4 月 15 日から 19 日まで、香港嶺南大学の大学院生 14 名と教員 2 名が本研究科を訪問し、本研究科グローバル共生教育論コースの学生たちとの交流を行い、東松島市内の防災施設や中浜小学校震災遺構なども見学した。仙台市内の常盤木学園高校の学生たちとの交流も行った。

・2024 年 5 月 7 日から 10 日まで、台湾政治大学教育学院の教員 1 名と大学院生 5 名が本研究科を訪問し、本研究科グローバル共生教育論コースの学生たちとの交流を行った。その他、中浜小学校震災遺構を見学し、仙台市内の宮城第一高校の学生たちとの国際交

流活動も開催した。

・2024年8月6日から17日まで、2024年度海外教育演習の一環として、教育学部学部生8名と教員2名が天津大学教育学部、清華大学教育研究院、北京師範大学教育学部を訪問し、学生交流を行った。北京滞在中滞在中 UNESCO 東アジア地域事務所も訪問した。

・2024年9月3日から13日まで、本研究科の「グローバル教育論」の現地調査のため、大学院生4名と教員1名がインドネシア教育大学を訪問し、現地調査を行った。

・2024年10月31日から11月1日、グローバル共生教育論コースの劉靖准教授と大学院生2名が台湾師範大学教育学院の招へいを受け、同学院主催の「2024 Asia-Pacific Association for Teacher Education Annual Conference」に出席し、教育学研究科における国際化推進取組みについて発表を行った。

・東北大学－清華大学共同研究プロジェクトの一環として、2024年12月10日から13日まで清華大学の教育研究院と美術学院の大学院生の学生12名が東北大学を訪問した。訪問中、教育学研究科グローバル共生教育論コースの学生たちとの交流を行い、災害に関する講演を行った。

・JST さくらサイエンスプログラムの採択により、山東大学の学生7名と教員1名が2025年2月9日から2月16日までの1週間、東北大学を訪問した。期間中、東北大学の NanoTerasu や魯迅の階段教室を見学し、教育学研究科の教員の研究室を訪問するとともに、国内の学生との交流も行った。

・2025年2月23日から3月4日まで、本学部の「国際教育開発演習」科目の現地調査の一環として、本学部・大学院の学生9名と教員1名がタイのチュラロンコン大学教育学部を訪問し、学生交流を行った。また滞在中、UNESCO バンコク事務所を訪問した。

(7) 国際交流支援室のウェブサイトの運用

教育学部・教育学研究科の国際交流に関する情報をより広く周知するため、2021年3月より国際交流支援室のウェブサイトの運用を開始した。現時点では、主に AEL Course、国際シンポジウム、日本語学習支援事業、留学生の受け入れ、部局間学術交流協定などの情報を掲載している。